

せめて自分ぐらい
自分を褒めて
認めてあげないと
自分が救われない
自分の味方になれるのは
自分だけ
美輪明宏



S-mile 通信



令和7年4月15日発行 第86号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1

入社式 ～4 月度新人研修

令和7年度の入社式、新人研修が4月1日(火)～4日(金)にかけて行われました。参加者は新卒、中途入職の保育士さん4名に加え、介護支援専門員1名を合わせ5名です。入社式では理事長から皆様に辞令書が交付されました。



てんとうむし東山保育園
保育士/杉本侑紀奈さん 左
保育士/森 里美さん 右



キッズホームてんとうむし
保育士/青山純子さん 左
保育士/佐藤由恵さん 右



介護計画相談センター
こすもす
介護支援専門員
青柳美千江さん



研修冒頭で理事長から「人間は頭で考え、心で感じ行動する」とお話がありました。人は頭で理解していても、心が汚れているとネガティブな言葉を発したり相手を傷つけてしまったりすることがあります。その結果、良好な人間関係が崩れると共に、行動したことが悪い方法に向いてしまうことがあります。

東日本大震災の時「こだまでしょうか」というCMが流れました。未曾有の出来事であり心身が疲弊する中、この詩が心に響いたという人が多かったようです。詩に触れ、心の内で何度も「こだま」しているうちに、どこか優しくなれた自分を見つけることができた方も多いと聞いています。

「こだまでしょうか」 金子みすゞ

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。「馬鹿」というと「馬鹿」という。
「もう遊ばない」というと「もう遊ばない」という。
そして、あとでさみしくなって、「ごめんね」というと「ごめんね」という。
こだまでしょうか、いいえ、誰でも。



愚痴や文句などのマイナス言葉ではなく、相手を慮り褒めること、気遣うこと、思いやりの気持ちで言葉をかけると、いずれはその優しい言葉が「こだま」のように自分へ跳ね返ってくるのでしょうか。



R6 年度苦情解決委員会

3月19日(水) R6 年度下半期の苦情解決委員会を開催しました。今回は担当者14名が参加し5事業所から発表が行われる中、第三者委員のお二人から苦情の捉え方について、二つのことを学びました。

今まで苦情というと自部署内で解決できる事案が多かったのですが、時代の流れと共に内容が複雑化し、何が正解なのか分かりにくいケースが増えています。介護事業所で苦情が発生した時には高齢者分野だけでなく、例えば障害者の支援団体やその基幹相談センター、行政や医療機関など広域で協力し合い解決方法を探ることが求められます。従って私達職員は、他の分野についても広く学ぶ姿勢を持ち続けることが大切だと実感しました。



また最近介護や障害の現場では、物事を縦割りで考え対応する場面が多く見られます。介護保険制度や障害者総合支援などそれぞれの法律や役割があることは確かですが、福祉職はお年寄りや障害者相手の支援を必要とする対人の仕事であり、役割分担はあっても支援内容を切り分けることはできません。お互い業務の境界線を設けず、ややお節介的な、相手の領域に少し踏み込む余裕を持ちながら、支援を継続していきたいものです。

託児サービスの様子

この度、慶成会で働く職員の子供さんをお預かりする託児サービスを開始しました。初回は3月20日（木）春分の日、年度末の31日の2回、NPO 法人ころねっと浜松よりシッターの方に来てもらいサービスを実施しました。

20日は小学1年生が一名でしたが、グリーンヒルズ東山施設内で託児の先生と過ごす他、てんとうむし保育園の園児と一緒に公園で遊ぶ機会もありました。園児達とは年齢が近いこともあり、お互い声をかけながら公園内を走り回るなど、自然と触れ合いながら楽しい一日を過ごしました。



託児サービスは原則祝日に行いますが、R7年度の該当日は合計14日あります。一日の定員は5名であり、既に2か月先の申し込み希望をいただいています。先着順のためご希望の方はお早めに下記へ申し込み下さい。

Ｌドライブー142.託児フォルダー『託児利用希望』ファイルへお名前の他、情報をご入力下さい。

※お弁当、おやつ、飲み物、小学生のお子さんは勉強道具を持参ください。



ショートムービー「おかえり」

全国社会福祉法人経営者協議会のホームページで公開中のショートムービー「おかえり」をご紹介します。

全国社会福祉経営者協議会では毎年、社会福祉の現場で様々な挑戦をする若手スタッフの声を届けるイベント「社会福祉 HERO'S」を開催しています。昨年度「社会福祉 HERO'S2023」では登壇者によるスピーチをもとに、同協議会において障害児入所施設をテーマとしたショートムービーを製作しました。

入職2年目の職員が、障害児との関わりや支援を通じて様々な体験をし、自身が成長する姿を描いています。福祉の仕事の魅力を感じることができる作品です。是非一度ご覧ください。皆で感動体験を共有しましょう。

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=m!!6nUITNZk>



出典：全国社会福祉法人経営者協議会 HP より
社会福祉 HERO'S



「置かれた場所で咲きなさい」

少し前、ある新聞に「置かれた場所で咲きなさい」という文章が掲載されたことがありました。記事の筆者は銀行の支店長さんでしたが、自身の仕事人生の悩みをこの言葉に重ね合わせ、前向きに捉え頑張ることができたそうです。

この「置かれた場所で咲きなさい」という言葉の由来は、今から30年以上前に活躍していた教育者、社会活動家の渡辺和子氏の著書が元になっていると思われます。

置かれた場所で
咲きなさい



長い組織人生においては、望まない異動や困難な立場、複雑な人間関係に遭遇することがあります。そのような時、人は落ち込んだりその理由を他者に求めたりすることもあります。

ただ見方を変えると、そうして置かれた場所でも自分を頼りにしてくれる仲間がいたり、思ってもみない自分の力に気づいたり、人脈を広げたりすることもできます。

そのような経験を重ねるうちに、今自分に見えている「世界」は、実は狭い見に基づく一面的な捉え方であることに気が付きました。

人は弱いもので先行きの見えない状況に不安を抱き、心が折れそうになることもあります。そのような時、意図しない出来事を少しでも前向きに考えていくためには、心の拠りどころとして「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を思い出すことが、弱った心に安心と希望を与えてくれるのでしょうか。

置かれた場所で
咲きなさい

